

CP-3-ii-01	ファーマシューティカル コミュニケーション	第3学年	前期 必修	1.5単位
担当者	湯本 哲郎・石塚 和美			
一般目標 (GIO)	患者・生活者、他職種との協力関係を構築するために必要な能力を身につけ、相手との協力関係から問題点を構造化し、協力して解決していくプロセスを身につける。			
到達目標 (SBOs)	<p>【相手との協力関係を構築する（コミュニケーション）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。 2. 言語的及び非言語的コミュニケーションについて説明できる。 3. 相手の立場、文化、習慣等によって、コミュニケーションの在り方が異なることを例を挙げて説明できる。 4. 対人関係に影響を及ぼす心理的要因について概説できる。 5. 相手の心理状態とその変化に配慮し、対応する。（態度） 6. 自分の心理状態を意識して、他者と接することができる。（態度） 7. 適切な聴き方、質問を通じて相手の考えや感情を理解するように努める。（技能・態度） 8. 適切な手段により自分の考えや感情を相手に伝えることができる。（技能・態度） 9. 他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。（知識・技能・態度） <p>【患者・生活者と薬剤師】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者・家族・生活者の心身の状態や多様な価値観に配慮して行動する。（態度） <p>【チーム医療と多職種連携協働】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員としての責任を自覚し行動する。（態度） 2. 保健、医療、福祉、介護における多職種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。 3. 多職種連携協働に関わる薬剤師、各職種及び行政の役割について説明できる。 4. チーム医療に関わる薬剤師、各職種、患者・家族の役割について説明できる。 5. 自己の能力の限界を認識し、状況に応じて他者に協力・支援を求める。（態度） 6. チームワークと情報共有の重要性を理解し、チームの一員としての役割を積極的に果たすように努める。（知識・態度） 7. チーム医療における薬剤師の役割と重要性について説明できる。 8. 多様な医療チームの目的と構成、構成員の役割を説明できる。 <p>【医療倫理】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤師が遵守すべき倫理規範（薬剤師綱領、薬剤師倫理規定等）について説明できる。 2. 薬剤師が倫理規範や法令を守ることの重要性について討議する。（態度） <p>【薬剤師が果たすべき役割】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。（態度） 2. 現代社会が抱える課題（少子・超高齢社会等）に対して、薬剤師が果たすべき役割を提案する。（知識・態度） 			
受講心得・ 準備学習等	アクティブラーニングを取り入れた授業や演習があるので積極的な協力を期待する。 講義・演習内容についてレポート提出を求められることがあるのでその点に留意して受講する。			
事後学習・ 復習等	プリント等をもとに復習を行い、疑問を解消するよう努める。			
オフィスアワー	原則、講義日の講義終了後～18時。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義、演習形式で行う。アクティブラーニングを取り入れる。		
回	項目	内容	担当者	SBOコード
1	ガイダンス コミュニケーション の基礎 1	相手との協力関係を構築する必要性を理解する。 言語・非言語がコミュニケーションに及ぼす影響を理解する。	湯本 石塚	A(3)-①-2
2	コミュニケーション の基礎 2	コミュニケーションの構成要素を理解する。	湯本 石塚	A(3)-①-1・3
3	コミュニケーション の基礎 3	対人関係に影響を及ぼす双方の心理的要因について理解する。	湯本 石塚	A(3)-①-4・6
4	コミュニケーション の基礎 4	相手の話を聴くことの必要性を理解する。 自他尊重のコミュニケーションを理解する。	湯本 石塚	A(3)-①-7～9

5	コミュニケーションの基礎 5	患者・薬剤師の解釈モデルについて理解する。 患者・家族の心理状態について理解する。	湯本 石塚	A(3)-①-5
6	価値観の尊重	患者・生活者の価値観の多様性を理解する。	湯本 石塚	A(3)-②-2
7	チーム医療と多職種連携協働	チーム医療と多職種連携協働における薬剤師の役割について理解する。	湯本 石塚	A(1)-①-3 A(4)-1~5 A(2)-②-2 F(4)-①-1・2
8	コミュニケーション演習 1	医療現場で生じる倫理的ジレンマの対処、バッドニュースの伝え方について考える。	湯本 石塚	A(3)-①-5~8 A(2)-②-2 B(1)-4
9	他職種とのコミュニケーション 1	チーム医療における他職種の役割と価値観の多様性を理解する。	湯本 石塚 外部講師	A(1)-①-3 A(4)-1~5 F(4)-①-1・2 A(1)-②-1・8
10	他職種とのコミュニケーション 2	チーム医療における他職種の役割と価値観の多様性を理解する。	湯本 石塚 外部講師	A(1)-①-3 A(4)-1~5 F(4)-①-1・2 A(1)-②-1・8
11	コミュニケーション演習 2	相手との協力関係から問題点を構造化し、協力して解決していくプロセスを実践する (POS、SOAP)。	湯本 石塚	A(1)-①-3 A(3)-①-5~8 A(3)-②-2
12	コミュニケーション演習 3	相手との協力関係から問題点を構造化し、協力して解決していくプロセスを実践する (POS、SOAP)。	湯本 石塚	A(1)-①-3 A(3)-①-5~8 A(3)-②-2
13	コミュニケーション演習 4	医療面接の基本について理解し、実践する。	湯本 石塚	A(1)-①-3 A(3)-①-5~8 A(3)-②-2
14	コミュニケーション演習 5	医療面接の基本について理解し、実践する。	湯本 石塚	A(1)-①-3 A(3)-①-5~8 A(3)-②-2

成績評価の方法	定期試験、レポートの合計点により評価する。
成績評価の基準	定期試験 (90%) ならびにレポート (10%) の合計点が 60%以上を合格とする。
教科書	プリントを配布
参考書など	日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会 監修「ファーマシューティカルケアのための医療コミュニケーション」(南山堂)